

## アフターサービス

### ●保証書

必ず販売店印及びお買い上げ日をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みください。また、お客様にて改造または修理をされた商品に関してましては保証対象外となります。何卒ご了承ください。お客様にて修理された際の費用のご請求は一切お受けできません。

※通信販売などでお買い上げの場合は、販売店の購入明細、日付の入った代金引換の領収書などが販売店印の代わりとなりますので、大切に保管してください。

### ●修理をお申し付けされるとき

[保証期間中]

商品と保証書をお買い上げ店にご持参、ご提示の上ご相談ください。保証書に記載されている保証修理規定に基づき、修理いたします。

[保証期間を経過しているとき]

お客様のご要望により有料で修理いたします。※往復送料はお客様負担となります。

### ●アフターサービスについてのご不明の場合

お買い上げの販売店または、弊社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

補修用性能部品の生産終了後の保有期間は2年です。

## カスタマーサポートセンター

### WEB

弊社ウェブサイトにて製品情報及び製品サポート情報をご確認いただけます。

▶ <http://www.b-grow.com/support/>

▶ 阪和 カスタマーサポート  検索

### MAIL

受付時間外のお問い合わせはメールにて受け付けております。

▶ [ss@b-grow.com](mailto:ss@b-grow.com)

※ご返信は受付時間内での対応となります。  
予めご了承ください。

### TEL

お電話でのお問い合わせはこちら

▶ 050-3505-7050

受付時間 10:00~17:00  
(土日祝、弊社休業日を除く)

※時間帯により、電話が集中し、つながりにくい場合がございます。予めご了承ください。  
※お電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにおかけください。  
※電話番号・受付時間などについては、変更になる場合がございます。

発売元

株式会社 阪和

〒556-0016 大阪市浪速区元町3-11-16

# 専用取扱説明書

品番 BA-100 品名 Angriff (アングリフ)



## 《必ずお読みください!》

## 重要

本製品は100%完成車ではございませんのでお客様に調整等をお願いすることがございます。

お手数をおかけすることがございますがあらかじめご容赦くださいませ。(組み立て、ギア・ブレーキの調整等、その他)

また初めてのご乗車の前や日々のご乗車の前には、日常のお手入れ欄に記載されている点検項目を、必ずチェックしていただきますようお願いいたします。

製品の改良のために仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。  
また、お買い上げの車種によりましては、説明書と実物の部品の仕様、形状等が異なる場合がございます。

### 消耗品・部品のご注文

下記ウェブサイトにて消耗品及び部品のご注文を承っております。

暮らし育てるアイデア

## D.I.G-mania.

ディグマニア

▶ <http://www.dig-mania.jp>

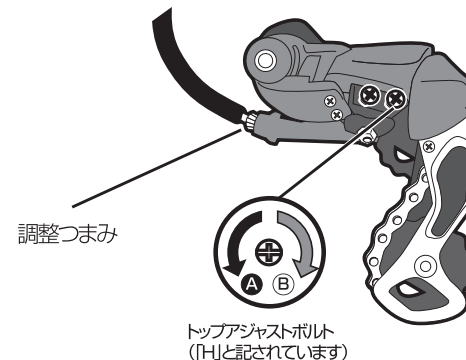
ご購入後のお問い合わせにつきましては、以下の項目をご確認のうえお問い合わせください。

- 品番 ■品名 ■お買い上げ日
- お買い上げ店名
- お問い合わせ内容

## もくじ

注意、日常のお手入れ、警告	1 ページ
各部名称	2 ページ
自転車の組み立て方法	3 ページ
ハンドルの組み立て	4 ページ
ペダルの取り付け	5 ページ
サドルの差し込み、固定	6 ページ
ブレーキの調整	7 ページ
変速機の調整 (リアディレラー)	8～9 ページ
アフターサービス	10 ページ
カスタマーサポートセンター	10 ページ

### ① トップ側の調整



変速機を操作し、リアディレラーが後車輪の一番外側のトップギア(重いギア)にくるようにしてから調整を始めてください。

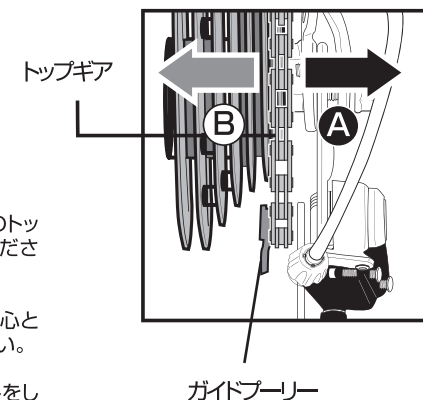
Hのネジをプラスドライバーで回し、ガイドプーリーの中心とトップギアの外側が一直線上に並ぶように調整してください。

※トップ側へチェーンがはずれるときは、トップ調整ボルトをしめてください。

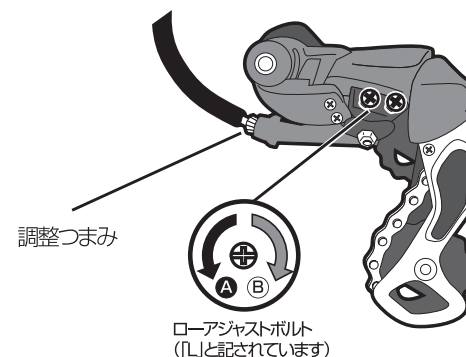
使用する工具:  
プラスドライバー

#### ●後輪ギア部を後から見たイラスト

#### ●後輪ギア部を後から見たイラスト



### ② ロー側の調整

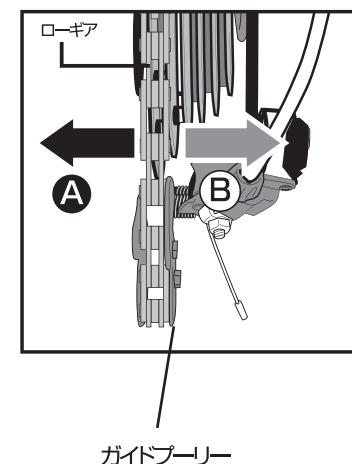


変速機を操作し、リアディレラーが後車輪の一番内側のローギア(軽いギア)にくるようにしてから調整を始めてください。

Lのネジをプラスドライバーで回し、ガイドプーリーの中心とローギアの中心が一直線上に並ぶように調整してください。

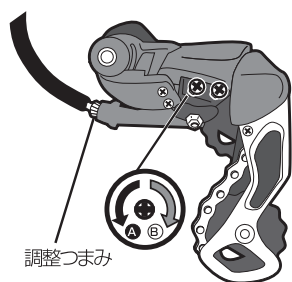
※ロー側へチェーンがはずれるときはロー調整ボルトをしめてください。

#### ●後輪ギア部を後から見たイラスト

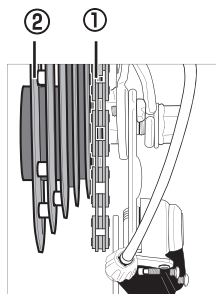


## 変速機の調整(リアディレーラー)

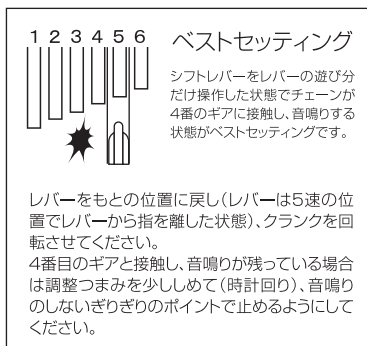
変速機の調整は工場出荷時に行なわれておりますが、お客様自身による調整が必要になる場合がございます。なお、変速機の調整は保証・サポートの対象外となります。あらかじめご了承ください。



※車種により変速機の形状が異なります。こちらは一例です。



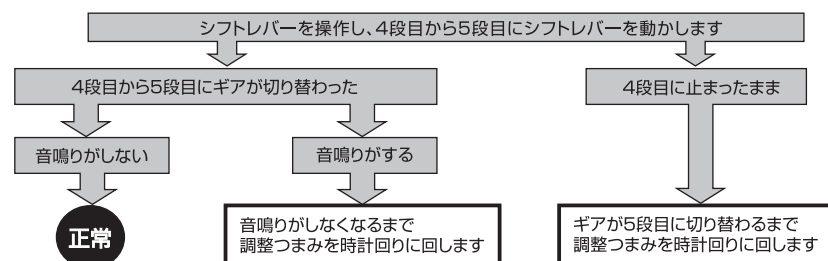
① 一番外側の小さいギアを6段目  
② 一番内側の大きいギアを1段目とします。※6段変速の場合



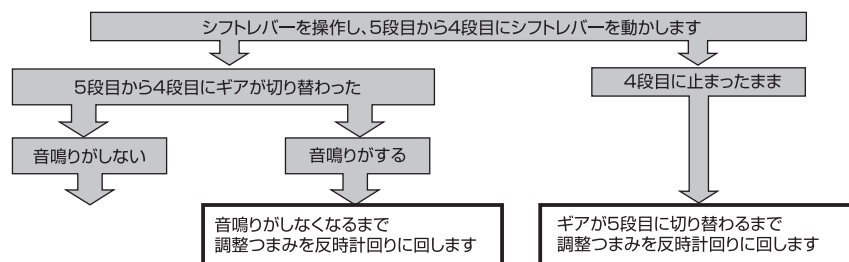
**強制**

ディレーラーの調整は必ずクランクを回しながら行なってください。クランクを回さない状態では絶対に調整しないでください。

### 【4段目から5段目にシフトアップする場合】



### 【5段目から4段目にシフトダウンする場合】



※この調整は各ギアごとに行なってください。

また、調整つまみで調整しきれない場合はディレーラーをトップギア側(外側)にし、調整つまみをしめ込み再度変速ワイヤーを張りなおしてください。外装変速機の調整は経験に左右されることが多いですから、何度か試してみるのが良いでしょう。

## 《必ずお読みください!》

この説明書の項目を十分にご確認ください。  
別紙取扱説明書には自転車点検リストが付いていますので  
日頃の点検、整備を行ない、安全走行をお願いいたします。

- 変速機、ブレーキ等に関しましては、工場出荷時点で調整を行なっておりますが、輸送中の振動等により、お客様ご自身での調整が必要になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ハンドル、ペダル等は必ずご乗車の前にしっかりと固定されているか確認してください。
- ブレーキの点検はご乗車前に必ず行なってください。

その他の事項につきましても必ず説明書をよくお読みください。

## 日常のお手入れ

自転車のご使用に際しては、日常のお手入れ調整が必要になります。  
ご乗車前には下記注意事項を参考に、各部の点検を行なってください。

### ● 各部の点検

- ・ハンドルの固定
- ・ペダルの固定
- ・サドルの固定
- ・変速機の調整
- ・タイヤの空気
- ・折りたたみ部の確認
- ・ブレーキの効き具合

### ● 保管方法とお手入れ

- ・保管は水、雨のかからない場所で行なってください。
- ・場所の確保が困難な場合は、カバーを使用するなどしてなるべく水分を避けてください。
- ・自転車を濡れたまま放置いたしますと、サビ、劣化の原因となります。水分を拭き取るなどして保管してください。
- ・チェーンには定期的に注油を行なってください。
- ・なお、リムやペダルの固定部分等には潤滑油の類は注油しないでください。部品の脱落、事故の原因となります。



**警告**

日常の点検を怠りますと、思わぬ事故につながる可能性があります。  
乗車前点検や日々のメンテナンスは必ず十分に行なってください。

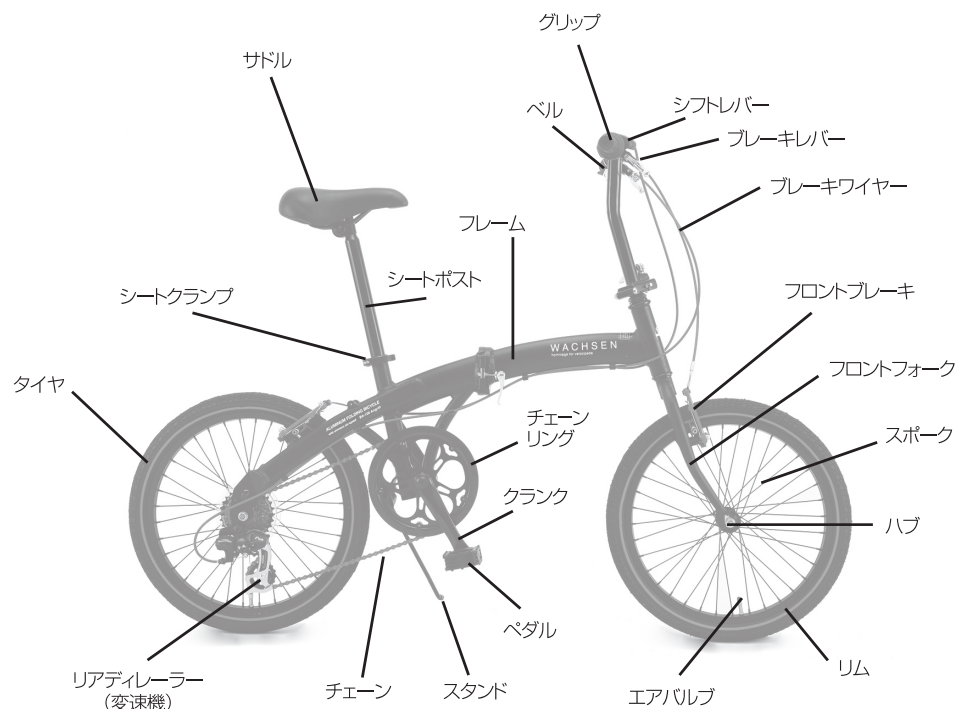
製品の改良のために仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。  
また、お買い上げの車種によりましては、説明書と実物の部品の仕様、形状等が異なる場合がございます。

## 各部名称



### 警告

ブレーキワイヤーの取り回しなど下記写真をご確認ください。誤った取り回しをすると、ブレーキや変速機に負荷がかかり、走行に影響が出たり転倒したりするおそれがあります。



## ■ セット内容

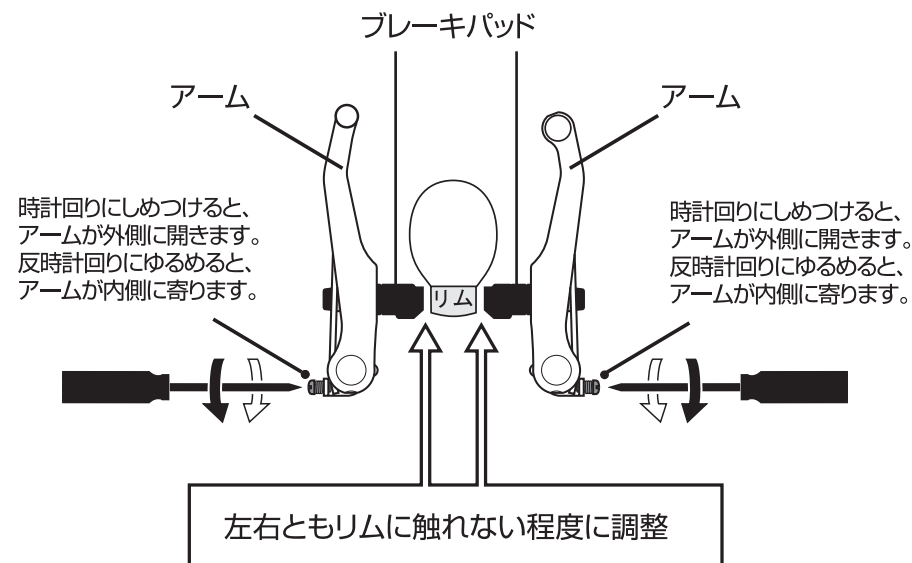
自転車本体、簡易工具、取扱説明書（保証書付）、専用組み立て説明書

## ブレーキの調整 (Vブレーキ)

Vブレーキを使用している車種に関して

ブレーキが片効きしている場合は、下記の手順で微調整を行なってください。

### 正面から見た場合



1. ブレーキパッドとリムの間隔が広い方のネジをゆるめブレーキを数回握る。
2. 間隔が狭い方のネジをしめ、ブレーキを数回握る。
3. この動作を繰り返し両方のパッドが当たらなくなるまで調整する。

調整時にネジの頭をつぶしてしまわないように、十分にご注意ください。

ご自身の調整が困難な場合はお手数ではありますが弊社サポートセンターにご連絡ください。

## サドルの差し込み、固定

### ⚠ 注意

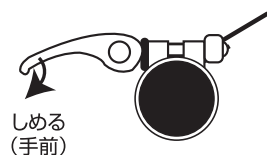
サドルは、しっかりと固定してください。固定されないまま乗車されますと、事故の原因となります。  
乗車前には必ずゆりみがないかどうか点検を行ってください。

レバーのタイプは車種によって異なります。



レバーを倒すとサドルを固定できます。レバーをしっかりと押し込み、サドルが固定されていることを確認してください。

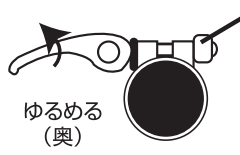
レバーを倒してもサドルが固定されない場合



ここを手、もしくはペンチなどで持って動かないようにします。

まず、レバーを起こした状態にします。次にネジが動かないように手で持ち、レバーを手前(正面から見た場合時計回り)に回すとネジがしまりますので、レバーをしっかりと倒した時点でサドルが固定されるように調整してください。

レバーが固くて最後まで押し込めない場合



ここを手、もしくはペンチなどで持って動かないようにします。

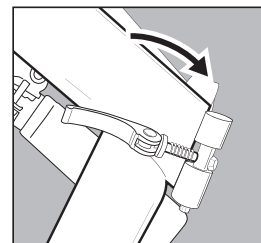
まず、レバーを起こした状態にします。次にネジが動かないように手で持ち、レバーを奥(正面から見た場合反時計回り)に回すとネジがゆるみますので、レバーをしっかりと倒した時点でサドルが固定されるように調整してください。

## 自転車の組み立方法

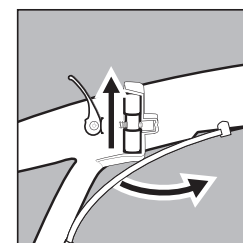
梱包を開封し、自転車を組み立てます。本体を組み立てる時は指詰めなどに注意して、本書の説明にしたがい行なってください。

※レバーなどで固定する部分はしっかりときつくしめてください。(事故や破損の原因となります。)

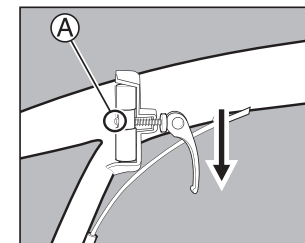
### ■ フレームの組み立て



①車体をまっすぐに伸ばします。

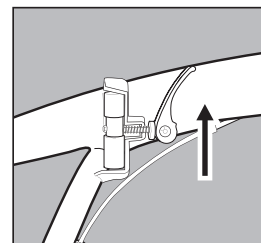


②レバーペダル部を垂直に上げ、クイックレバーを自転車前方へ水平に回転させます。

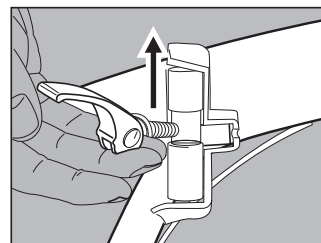


③レバーペダル部を垂直に下げ、折りたたみロックを固定します。  
※クイックレバーは必ずきつくしめてください。※きつくしない場合はAのネジをしめて調整してください。

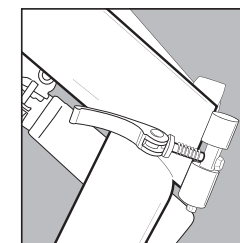
### ■ フレームの折りたたみ



①レバーペダル部を垂直に上げ、車体の固定を解除します。



②クイックレバーを自転車後方へ水平に回転させ中央付近でレバーを上へ持ち上げ、前フレームと後フレームのロックを解除します。

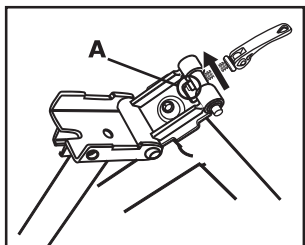


③車体を折り曲げクイックレバーを戻し、折りたたみ完了です。

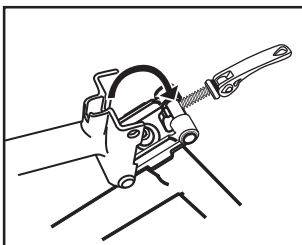


## ハンドルの組み立て

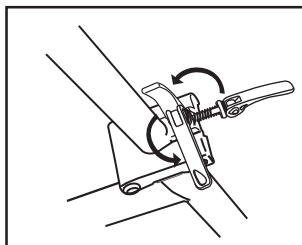
ハンドルを取り付ける際はブレーキワイヤー等が絡んでいないことを確認してください。



①クイックレバーを垂直に上げます。



②レバーペダル部を垂直に上げたまま  
で折りたたまれているハンドルをまっす  
ぐに伸ばします。



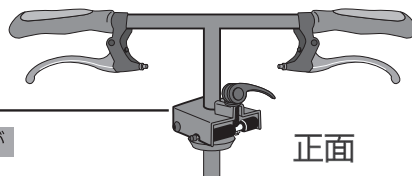
③クイックレバーをハンドル方向に上  
げ、レバーペダルを垂直に下げ、固定  
します。

※クイックレバーは必ずきつくしめてください。きつくしない場合はAのネジをしめて調整してください。

### 折りたたみタイプの場合

折りたたみタイプのハンドルは折りたたみ時に車体と  
ハンドルが平行になるように設計されております。  
このため、まっすぐに伸ばしたときに

折りたたみ部の角度がハンドルに対して斜めになりますが  
製品仕様ですので問題ございません。



正面

## ペダルの取り付け

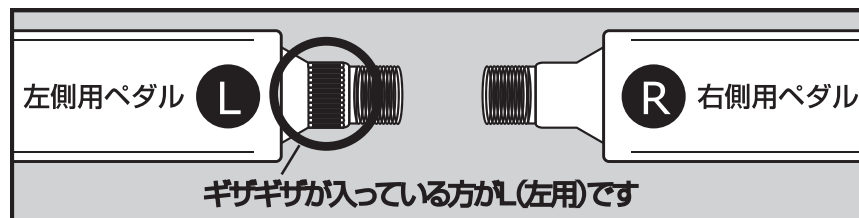
下記の注意点をお読みのうえ、取り付け作業を行なってください。

### 重要～取り付け時の注意点～

#### ペダルの取り付け方

- ①最初に手でペダルのネジをクランク(ペダルを取り付ける部分)のネジ穴に  
2～3回転程度ねじ込みます。
- ②まっすぐねじ込まれているのを確認してから、必ず工具を使用してしっかりと固定して  
ください。固定が弱いと、破損、事故の原因となります。

●ペダルには右用、左用があります。左右を間違えると取り付けできません。



#### ▲ しめつけ方向にご注意ください。

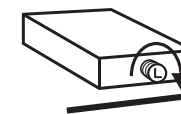
※ペダルイメージ

ペダルは左右でしめつけ方向(ネジの向き)  
が異なります。

右ペダル:時計回り  
左ペダル:反時計回り

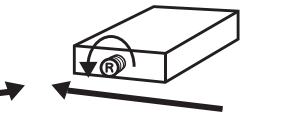
※しめつけ方向を間違えますと、クランクのネジ穴を破損します。  
お客様の取り付けミスによる破損は保証対象外となります。

左側用ペダル  
(Lマーク付き)



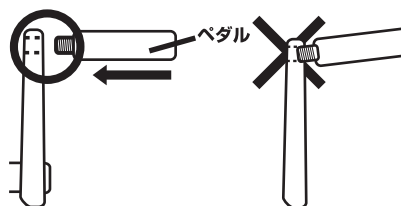
ハンドル方向(前面)

右側用ペダル  
(Rマーク付き、チェーン側)



ハンドル方向(前面)

●取り付けはクランクに対して垂直に行なってください。



取り付けの際は、クランクのネジ穴とペダルのネジが垂  
直になるようゆっくりとネジをしっかりとめてください。  
万一、ネジが斜めに入ってしまうと、クランクのネジ  
穴が破損してペダルの取り付けができなくなります。  
その際は修理が必要となります。  
弊社にて修理は可能ですが送料・修理代金等はすべてお  
客様のご負担となります。